

水道事業の現状と課題について

角増 正裕 議員

答 よりよい水道事業を目指します



角増 平成30年7月豪雨の影響は。

ため前早世浄水場から太田川水系の水を消防ポンプ車と消防ホースを使い三高浄水場に送水しました。現在ではダムの水質が回復して自己水源での活用に戻っています。切串浄水場については水源への泥水流入や水道管の破損により現在も取水不能の状況です。

角増 切串浄水場の復旧見込みは。

市長 県からの送水が施設の破損で停止したことに加え、市内の水源についても泥水の流入や施設の破損により全て停止しました。前早世浄水場では県の送水再開により断水が段階的に解消しました。自己水源である三高浄水場はダムの水質や、ろ過池の機能が回復しなかったことから断水解消が遅れていました。その

企業局長 ダムに7割程度土砂が堆積しているのに加え道路が崩落し150mに渡って水道管が破損しています。今すぐは無理ですが道路を修復する際には水道管も更新し復旧

させたいと考えています。

角増 市所有導水管の更新費用は。

角増 天応く小用間の海底導水管の現状は。

企業局長 13億円程度です。

角増 水道事業の県単位化は。

市長 昭和38年に敷設した市所有の導水管と昭和50年に敷設した県所有の導水管は耐用年数60年が目安ですが55年経過しています。現在、有事に備え県所有導水管を分岐して日量8千トン確保する工事を実施していま

市長 平成30年1月に広域連携案を策定し4月には県と市町で協議会を設置して2年間を目標に広域連携の具体化を整理していく予定です。市としては、このような協議の中で、より良い水道事業を目指してまいります。

各浄水場の1日当たり配水量（平成29年度）

(単位：t)

名称	種類	配水量	豪雨災害後の現状
呉市の宮原浄水場	県水道用水	1,392	県の送水再開により復旧
前早世浄水場 (処理能力10,000t/日)	県工業用水	5,144	県の送水再開により復旧
三高浄水場 (処理能力2,000t/日)	自己水源	1,280	ダムの水質やろ過池の機能回復により現在は自己水源での運用を再開
鹿川浄水場 (処理能力500t/日)	自己水源	0	水質悪く豪雨前から配水停止
大原浄水場 (処理能力280t/日)	自己水源予備	0	豪雨で浄水不能。予備で非常時以外は配水停止。
奥小路浄水場 (処理能力300t/日)	自己水源予備	0	豪雨で浄水不能。予備で非常時以外は配水停止。
切串浄水場 (処理能力500t/日)	自己水源予備	184	電力会社の節電要請がある期間に稼働。豪雨の被害で現在は取水不能。
合計		8,000	うち太田川水系6,536 (82%) 市内の水源1,464 (18%)



答 マニユアルの整備、訓練で災害対応の実効性を高める

長坂 緊急時の職員初動行動はマニユアル化されているか。

市長 災害発生時対応の職員初動マニユアル、その他各種マニユアルを整備しています。7月豪雨でもこれらを基に、的確に災害対応に当たりました。災害対応活動の実効性を高めるため、毎年さまざまな訓練もしています。

長坂 業務の初動体制がマニユアル化されていないため、災害対応が混乱したと聞いた。市民の安全のために周知をお願いしたい。

今回の様な勤務時間外の広域災害発生時、市外から参集は不可能である。参集できなかった市外居

住の職員を把握したか。どのような指示をしたのか。

危機管理監 自分の配備体制を確認して行動を取るように指示してました。

総務部長 市外の参集対象職員が37名のうち、10名がその日のうちに参集できず、また市内では25名の未参集の職員がいました。

長坂 市外から参集できない割合が高い。安全を考え、広島や呉と広域参集体制は作れないか。

危機管理監 職員の広域体制はありません。災害発生時、市町の状況を県に確認し、応援要請の判

断をします。

市外居住の職員へ、市内居住へ誘導・促進する対策は

長坂 市外居住の職員に対し、いざという時に来てもらえない不安の声、また、住民と労苦を共にしてほしいという声もある。市の対策は。

長坂 防災・まちづくりのため、多数の自治体が、市内居住のための誘導策を出している。何かできるか研究していないか。

長坂 日々の業務のがんばりで、市民に貢献していきたいと考えています。

市長 介護や家族の通勤・通学のため、市外から通勤せざるを得ない職員がいます。職員へのアンケートでは、災害予報時、ほとんどが市内の実家や知人宅に待機する対策をとることです。居住場所より、市民サービス向上のために高い意識を持って働くことが最も重要だと考えています。

大規模災害時の市職員の参集体制は

長坂 実子 議員

地域の安全は地域で

上本 一男 議員

答 自主防災組織を支援する

上本 機能別消防団員について、市はどう考えているか。

消防長 このたびの災害においては、機能別消防団員は災害現場に赴いていただいたが、一番の目的は日中の消防力を維持することです。

上本 防災リーダーと災害の兼ね合いについてはどうか。

危機管理監 現在江田島

市では162名の防災リーダーがいます。防災街歩きで指導員と一緒に歩き、ハザードマップの作成をしております。その中で、危険箇所を見つけた場合は、担当課に連絡し、対処しています。

上本 鹿川く岡大王線の法面が、この度の災害で落石があり、通行止めになった。国からの石油貯蔵施設立地対策交付金がありながら対策ができていないのはいかがなものか。

土木建築部長 昨年、法面が不安定なため、地元からコンクリート擁壁を設置してほしいと要望があり、地元と調整している矢先に、このたびの豪雨災害で落石があり、通

行止めになりました。鹿川ターミナルへの道路は、メイン道路であり、重要性は充分認識しているので、パトロールを強化し、法面対策も検討し、また、石油交付金という地元に使える有効な財源があるので、一定の用途がつき次第、整備する方向で検討します。

